

令和5年度 体験活動普及啓発事業
タラッキーキャンプ
～しぜんとともだちになろう！～

〔主催〕 国立諫早青少年自然の家
〔期日〕 令和5年9月9日（土）～10日（日） 1泊2日
〔活動場所〕 国立諫早青少年自然の家
〔参加者〕 小学1・2年生及び保護者
 児童33名（男子18名、女子15名）
〔講師〕 大道 智子（絵本専門士）
〔担当職員〕 高山 雄也、西田 尚由

1) 事業の趣旨

沢登り、絵本の読み聞かせやクラフト活動等を通して、絵本や自然に親しみ年齢や性別に関係なく参加者が交流できるようにし、また、自分のことは自分ですることで児童一人ひとりの自立心を育てる。

2) 目標

- ① 年齢・性別等にとらわれず、誰とでも仲良くする。
- ② 自分のことは自分でできるようになる。
- ③ 絵本に親しむとともに自然に親しむ心を育む。

3) 研修プログラム

1日目	2日目
10:00 受付	6:30 起床
10:30 はじまりの会 絵本読み聞かせ 【写真①】 仲良くなるゲーム 【写真②】	7:15 朝のつどい 7:30 朝食（レストラン） 8:30 部屋清掃・荷物整理
12:00 昼食（レストラン）	9:30 クラフト活動 【写真⑦】
13:00 野外活動 【写真③】 沢登り（Aコース 水神～）	11:30 ふりかえり、おわりの会 【写真⑧】 12:00 解散
17:00 タベのつどい	
17:30 夕食（レストラン） 【写真④】	
18:45 入浴	
19:30 ベッドメイキング 【写真⑤】	
20:15 ふりかえり、絵本読み聞かせ 【写真⑥】	
21:00 就寝	

4) 事業展開

① 絵本読み聞かせ



各活動の前に導入として、講師（大道氏）による絵本の読み聞かせを行った。参加者は集中して聞く様子が見られ、各活動の動機付けになった。2日間で5冊の読み聞かせを行った。

② 仲良くなるゲーム



参加者同士で自己紹介を行い、仲間づくりのゲームを行った。初対面の参加者同士も仲良くなり、活動後、積極的に交流する姿が見られた。

③ 野外活動（沢登り）



天候にも恵まれ、無事に沢登りを実施することができた。参加者同士が協力し合い、全員が怪我無くゴールすることができた。

④ 食事



食事は、自分が食べきれぬ量を判断し、自分で配膳を行った。野菜が苦手な参加者も、好き嫌いせず、バランス良く配膳を行った。

⑤ ベッドメイキング



参加者同士で協力して、自分の寝る場所を作った。2段ベッドの上段を選んだ参加者は大変そうだったが、同じ部屋の仲間やボランティアスタッフの補助もあり、全員がベッドメイクをすることができた。

⑥ 夜の絵本読み聞かせ



夜のふりかえりの前後で絵本の読み聞かせを行った。ふりかえり前は講師、ふりかえり後はボランティアスタッフによる各部屋での読み聞かせを行い、参加者が睡眠に入りやすい環境を整えた。

⑦ クラフト活動



1日目の沢でどんなことが楽しかったかを、絵日記を参考に参加者それぞれがサンドアートで表現をした。各々違った作品ができ、参加者同士でどんな作品を作ったかを話す様子が見られた。

⑧ ふりかえり



ふりかえりでは絵日記を書き、何が楽しかったかを班で発表し合った。書いた絵日記はクラフト活動で参考にしたり、感想を伝えるのに活用したりした。文字を書くよりも集中して書く様子が見られた。

5) 評価

① アンケート結果（事業全体に対する満足度）

	満足	やや満足	やや不満	不満
参加児童	82%	15%	3%	0%
保護者	81%	19%	0%	0%

② 保護者の声

- ・親のいないところの方が自分のことをきちんとしていると思いました。
- ・大学生のボランティアの方と沢山話したり、部屋で子供同士で遊んだりしてすごく楽しかったです。全く知らない子供同士でもすぐ仲良くなれたみたいでありがたかったです。
- ・迎えにいくと、「まだここにおりたい！」が第一声の息子でした。貴重な経験をしたようです。ありがとうございました。
- ・待ちに待ったキャンプだった事もあり、キャンプ後の感想は『最高に楽しかった！』と言っておりました。絵本の読み聞かせも普段チョイスしない内容の絵本だったので新鮮だったようで、自宅でも用意したいと思います。
- ・子どもから話を聞いて楽しそうだったが、活動中の写真などを見てみたいと思いました。
- ・振り返りの時間に発表や写真のスライドがなかったのが迎えだけで良かったのではないかと思います。

6) 成果と課題

① 成果

- ・昨年度に引き続き、活動前に導入として絵本専門士による絵本の読み聞かせを行ったことにより、参加者が話を聞く準備ができ安全指導等を効率的に進めることができた。
- ・ふりかえりで絵日記を書くという初めての試みを行った。記録があることで、班ごとでの発表や2日目のクラフト活動において、スムーズに活動を進めることができた。

② 課題

- ・対象者が小学校1、2年生のため、活動の時間は余裕を持って設定したが、かえって時間が余ってしまう場面があった。活動ごとの内容の見直しや、対象者理解を深め、適切な時間設定を行うようにしたい。
- ・仲良くなるゲームでは、ゲームごとのつながりが不十分だったため、参加者がどうなることがゴールなのかを考え、内容を検討する必要がある。
- ・今回、男女同じ部屋に宿泊する試みを行ったが、保護者からは賛否両論あった。賛成意見としては、「部屋で子供同士で遊び、楽しかったかと言っていた。」など、反対意見としては、「スタッフも含め、宿泊部屋は男女分けるべき」などのご意見があった。参加者には問題はなかったため、今後同様に宿泊を行う際は、保護者からどのように理解を得るか検討したい。